

「四日市港戦略計画 2023～2026」（中間案）に対する主な意見と対応

番号	中間案の記載箇所	意見（概要）	対応
1		四日市公害の経験を風化させないため、四日市港戦略計画においても、その経験を明文化すべきである。	<p>「策定にあたって」に、下線部のとおり四日市公害の経験に関することを追記します。</p> <p>【追記：2ページ3段落目の文中】 <u>～前略～</u> 引き続き、残された課題に対して、着実に成果を挙げられるよう取り組んでいきます。また、<u>四日市公害を克服しながら国内有数の石油化学コンビナートを擁する港湾として発展してきた経験を生かし、経済と環境の好循環に資するカーボンニュートラルポート（CNP）の形成など、社会経済情勢の変化に的確に対応した新たな取組にも、しっかりと注力することで、</u> <u>～以下略～</u></p>
2		取組や活動の推進は、持続可能な開発のための目標（SDGs）の達成に資するものでなければならず、四日市港戦略計画でもその旨記載すべきである。	<p>「策定にあたって」に、下線部のとおりSDGsに関することを追記します。</p> <p>【追記：2ページ4段落目】 <u>～前略～</u> 長期構想の基本理念である「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」の実現をめざします。</p> <p><u>このめざす姿を確実に実現していくためには、長期構想で掲げる「産業・物流への貢献」「都市・住民への貢献」「環境への貢献」の3つの方向性が相互に関わりあうものであることを認識し、これらを調和させながら施策を展開することが重要です。このことは、経済・社会・環境の相互調和のもと持続可能な世界をめざすSDGsの考え方につながるものであり、戦略計画に掲げた取組を推進していくことでSDGsの達成に寄与できるものと考えます。</u></p>
3	10ページ 四日市港を取り巻く状況①	政策1「背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり」の四日市港を取り巻く状況において、三重県の「ゼロエミッションみえ」取組が記載されているが、CNコンビナートの転換促進やCNPの整備促進との関連性が見えにくい。	<p>政策1 四日市港を取り巻く状況①を、下線部のとおり修正します。</p> <p>【修正：10ページ 6行目】 <u>また、三重県では、中期〔令和4（2022）年度から令和8（2026）年度〕の成長戦略計画『みえ元気プラン』で進める7つの挑戦の1つに「脱炭素化等をチャンスととらえた産業振興」を位置付け、CNコンビナートへの転換促進とCNPの整備促進などを柱に「ゼロエミッションみえ」プロジェクトに取り組んでいくとしています。</u> こうしたなか、三重県及び四日市市により、 <u>～以下略～</u></p>

番号	中間案の記載箇所	意見（概要）	対応
4	17 ページ 施策 102 22 ページ 施策 103	施策 102 及び 103 の施策名を「企業ニーズに対応した〇〇〇」としており、この施策名では消極的な印象を受ける。	<p>施策 102 及び施策 103 の施策名の表現を下線部のとおり修正します。また、関連部分についても修正します。</p> <p>【施策名の修正】 ※目次、政策体系図等含む 施策 102 <u>背後圏産業の動向を捉えた</u>港湾サービスの充実 施策 103 <u>背後圏産業の動向を捉えた</u>港湾施設の充実</p> <p>【関連部分の修正】</p> <p>◆政策 1 現状と課題① ～前略～ <u>企業ニーズを積極的に捉えた</u>港湾サービスや港湾施設の充実が必要です。</p> <p>◆施策 103 目標 企業ニーズを<u>積極的に捉えた</u>港湾施設の整備や適切な維持管理を進めることにより、荷主企業や船会社の利用が増加している</p> <p>◆事業 10301 目標 企業ニーズを<u>積極的に捉えた</u>港湾施設の整備等を進めることにより、荷主企業や船会社の利便性が高まっている</p>
5	31 ページ 事業 20101③	大型客船が入港すると見学客など多くの方が港に訪れ、賑わいができるが、客船誘致の本来的な目的は、乗船客の寄港地での消費による地場産業の活性化など、観光産業の振興なのではないか。	<p>政策 1 施策 102 事業 10201 に、客船誘致に関する内容を次のとおり追記します。</p> <p>【追記：20 ページ 主な取組内容】</p> <p>⑤客船誘致の推進 港勢の拡大に向け、四日市港客船誘致協議会や三重県クルーズ振興連携協議会に参画し、背後圏の観光産業の振興にも資する客船の誘致に官民一体となって取り組むとともに、歓迎イベント等の充実に寄与し、継続的な客船寄港につなげます。</p> <p>※なお、この追記に伴い、本事業の主な取組内容「臨港地区における土地の有効活用」は⑥とします。</p>

番号	中間案の記載箇所	意見（概要）	対応
6	32 ページ 事業 20102①	「末広町側の物揚場についても、親水護岸の整備に向けた検討を行います。」とあるが、現在、千歳運河の千歳町側の親水護岸整備が順次進められており、次期戦略計画の計画期間中において、末広町側の整備にも着手できるのではないか。	次の理由から、原文どおりとします。 【理由】 末広町物揚場の親水護岸整備には、港湾審議会での審議を経て、四日市港港湾計画に緑地としての位置付けが必要となることから、現時点では、整備に向けた検討を行うこととしている。
7	46 ページ 事業 30201①	「港湾・企業活動等の脱炭素化」といったCNP形成にかかる取組は、産業を支える政策 1 に整理されるべきではないのか。	政策 3 施策 302 事業 30201 の主な取組内容の項目名及びその内容を下線部のとおり修正します。 【修正：46 ページ 主な取組内容】 ① <u>温室効果ガスの削減</u> に向けた取組 四日市港の <u>CNP 形成に向けた推進組織等</u> において検討した <u>取組を推進することで、四日市港の港湾活動・企業活動から発生する温室効果ガスを削減します。</u> 管理組合の事務・事業から排出される温室効果ガスを ~以下略~
8	58 ページ 用語解説【け】	ケミカルリサイクル及びマテリアルリサイクルの用語解説について、より違いが分かるよう修正されたい。	用語解説を下線部のとおり修正します。 【修正：60 ページ】 ケミカルリサイクル・マテリアルリサイクル ケミカルリサイクルは、 <u>廃棄物中の物質を化学的に処理して他の物質に変え、それを原料として新たな製品を作るリサイクル方法。</u> マテリアルリサイクルは、 <u>廃棄物中の物質を利用しやすいように処理し、新しい製品の材料として再利用するリサイクル方法。</u>
9		進捗状況を測る主な指標（KPI）は、政策との関連性や各指標間の関連性がわかるように一覧表を追加すべきである。	KPI の一覧表を追加します。 【追加：71 ページ 参考資料】